

学習内容報告書 フォーマット

学校名	静岡県沼津市立静浦小中一貫学校
授業者	太田将人

1. 単元計画

1-1. 単元名

地域防災を考えよう～もしもに備えて、今わたしたちができることは？～

1-2. 学年

中1（7年）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

津波被害対策指定区域である静浦について、地震に対する防災意識と被災した後の生活について考える単元である。そのため、本、インターネットを活用して、テーマに対する情報を集め、整理・分析してまとめる活動を行なう。そして、そのまとめとして、スライドを作り、集めた情報や意見を発信していく必要がある。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本単元のねらいは、津波被害対策指定区域になる静浦の地区における防災への取り組みを理解し、自分たちの地域のためにできる自己の役割を認識できるようにすることである。本やインターネットの情報集めを通して、静浦における震災の予想される被害状況を改めて感じると共に、いま自分たちができることは何かを考える活動を通して、これからの防災に対する課題を考えていけるようにしていきたいと考える。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 目標を設定し、課題解決に向けて計画的に行動する力
- ・ 観点を立てて情報を整理する力
- ・ 相手や目的に応じたプレゼンテーションをする力。
- ・ 課題の解決に向けて、地域の活動に参画する力。

1-7. 単元の展開（全14時間）

時 数	学習活動・主な内容	○教師の指導 / ☆主な評価 ・外部連携 / 使用教材等
1 2 3	○地震が起きたとき、自分や家族がどのような行動をとっているのかを想像する。 ○マンダラートを使ってテーマを立てる。	○大地震の映像をみせる。 ○課題解決のための情報収集は、コロナ対応のため、本やインターネット等を使用する。 ☆自分の問いを解決するための調査計画を立てようとしている。（調査計画表）
4 5 6 7	○テーマに向けて、調査計画を立てて調べてみよう。	○学校の防災倉庫、危機管理マニュアル等で実際に備えてある物資等を確認させる。 ○必要な情報が正しいものか、多くの情報を得て確信をもたせる。 ☆テーマ解決のために必要な情報を協力しながら得ているか。（プリント）
8 9	○集めた情報を交換・整理する。	○実際にスライドを作ったり、昨年のもを見せたり、書く項目を整理したりして子どもたちにスライド作成の見通しをもたせる。 ☆集めた情報をもとに、スライド作成の見通しがたてられているか。（プリント）
10 11 12 13 14	○集めた情報をまとめ、主張（結論）を決めよう。 ○調べた内容をスライドにまとめよう。 ○振り返りをしよう。	○多くの情報から相手に伝えたい情報をわかりやすくまとめさせる。 ☆集めた情報をもとに、これから必要なことが何かを主張している。（スライド）

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- | |
|--|
| <p>A : テーマを解決するためにどんな情報が必要なのかを考えている。
・求める情報に応じて、情報を集めるための調査方法を決定する。</p> <p>A' : テーマを解決するためにはどのような情報が必要であるかを明確にし、その情報を集めるための調査計画を立てることができる。</p> |
|--|

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	* 教師の指導・支援 / ☆ 評価の視点 (方法)
-------------	---------------------------

<p>○自分が気になっている今できることは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路が気になっている。 ・避難グッズはどのようなものがあるのだろう ・どんな準備が必要だろう <p>同じ興味のグループをつくる。</p> <p>○グループでテーマを決定しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の避難場所と経路はどうなっているのだろうか。 ・持っておくと良い避難グッズとはどのようなものだろう。 ・地震が起こる前に私たちにどんな準備ができるだろう。 <p>◎どうやってテーマを解決していけば良いだろう</p> <p>○どんな調査方法があったらだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットで情報を得ることもできるね。 ・実際に倉庫や学校にはどんなものがあるのか直接確認したい。 <p>○テーマを解決するにはどんな情報が必要だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所までどのくらいかかるのか、実際に走って時間を計ってみよう。 ・ハザードマップで危険区域となっている地域の防災倉庫はどこに設置されているか直接見に行こう。 ・自分の住んでいる地域の避難場所は津波が来た時大丈夫なのかを防災マップで調べてみよう。 ・地震がおきてから救助がくるまでにどれくらい時間がかかるのだろう。 <p>○情報収集のための計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークに行くために日程の確認をしよう。 ・必要な本が学校にあるかを確認しよう。 ・直接倉庫を見に行こう。 <p>○次の時間は実際に調べてみよう。</p>	<p>*個人の気になっているものを事前に確認しておく。</p> <p>* 5、6年次の学習を想起させながら、子どもの言葉を引き出していく。</p> <p>☆自分が必要とする情報に対して、適切な調査方法を設定し、調査計画を立てる。 (ワークシート・ふり返し)</p> <p>*調査方法が見通せない子どもには、個々に声をかけて、計画を立てていく。</p>
--	---

3. 今回の活動の自己評価

個々の興味分野から、グループを設定し、グループテーマの解決に向けて調査計画を立てていくのが、本時であった。前時までに個人テーマが明確になっていた子どもは、「これを調べなくてはならない」ということが分かっているため、必要な情報も定めやすく、調査計画も立てやすかった。また、今回はグループで行ったため、他者との共働ができ、調べる分担やどういふことを調べるかを決めるのがスムーズであった。

本来は実地調査やインタビューなど、現地に赴き情報を集めてきたかったが、コロナ対応で実行することができなかった。本来の情報集めは、フィールドワークが必要なので、来年はできるよう計画にしていきたい。

4. 今後の課題

気になっている分野が同じ生徒同士でグループをつくったため、取り組み方はスムーズであった。しかし、情報を多く取り入れたために、情報を整理して主張する意見を考える時間を多くとることができなかった。情報を精査し、まとめる技能を前もって高める必要がある。また、今年度は地域に向けて発信することができなかったので、別の手段を考える必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

全国的に地震についての防災意識が高まっているが、特にもし地震が起きた時には確実にその被害を受ける地域であることを意識し、切実感をもって取り組む学習内容にしていきたい。今回学んだことが、机上のもので終わることなく、実際に地震に遭ったとき、動けるかシミュレーションゲームなどをしてイメージを広げる必要がある。